

事業活動実績報告書

施設名	遍照院幼稚園
教育理念	優しく 強く 伸び伸びと優しく(人やものにも) 強く(心や体を) 伸び伸びと(一人一人の個性を活かしながら)
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 表現
1 事業名	茶道指導
2 実施期間	令和6年5月21日 ～ 令和7年2月28日

3 取組概要	(取組日)1学期	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	畳の和室を使用し正座を中心に「あいさつの仕方、立ち方、座り方(正座)」を行う。 練習時にもお菓子の食べ方を取り入れ、集中力を高める。	
	(取組日)2学期	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	お茶の道具を順次出しながら、その道具の名前を覚えつつ、取り扱いを覚える。また、お点前を各部分の取得から、一連の流れへと移行していく。 また、茶道具を園児数分購入し、個人使いすることで、物を大切にする心を育む。	
	(取組日)3学期	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	お湯を使い始めながらお湯の扱いをしっかりと覚え、お抹茶の使用も開始し、少しずつお抹茶を点てて、友達に振る舞うことに慣れる。そして、お客様を招くお茶会につなげる。	
	(取組日) 令和7年2月28日	
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	「お茶会」 今まで自分たちが頑張って覚えたお点前を披露しながら、心を込めて点てたお抹茶を保護者の方々へ振る舞う。また、自分たちのお抹茶の飲み方も観ていただく。	

効果検証報告書

施 設 名	遍照院幼稚園
教 育 理 念	優しく(人やものにも) 強く(心や体を) 伸び伸びと(一人一人の個性を活かしながら)

事業の区分(5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 表現
1 事業名	茶道指導
2 事業概要	年間を通して、茶道の「お点前」を指導し、卒園前に「お茶会」を開催する。

計画時

3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 茶道指導 1名、補助(担任)1名 お茶会には他数名が関わる。
--------	--

事業後

3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- 茶道の専門的な指導と子どもの専門的な指導との連携をすることで、安全を考えながらきめ細かい指導が出来た。
-------------	--

計画時

4 事業のねらい	①日本の伝統文化を知る。 ②礼儀作法を知る。 ③集中力や忍耐力を高める。 ④相手を思いやる気持ちを育てる。
----------	--

事業後

4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- ・正座をしても話をきちんと聞くことが出来るようになった。 ・相手のことを思い、考えながら行動したり話をしたりできるようになった。 ・初めての「お点前」をすることにも自分から挑戦する姿勢がみられるようになった。
-------------	---

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 ----- 1学期 挨拶や正座から始め、袱紗のたたみ方等を覚える。 練習時にもお菓子の食べ方を習得する。 2学期 茶道具を使用し、「お点前」を習得する。また、茶道具を園児数分購入し、個人使いとする。 3学期 お湯とお抹茶を使用し、保護者を招いてお茶会を開催する。
---------	---

事業後

5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- その場に合わせた姿勢やマナーを知り行うことができた。また、お菓子の食べ方を取り入れたことにより、集中力が高まった。 何事も諦めないで取り組むことの大切さを知ることができた。 できたことの喜びを感じることができた。茶道具を個人使いとすることにより、物を大切する心が育まれた。
-------------	---

6 環境構成	幼稚園に隣接する建物の和室で年間を通じて指導を行う。 幼稚園児に合わせた茶道具一式が揃っている。 茶碗・茶巾・茶杓・棗(なつめ)・抹茶等を使用。
--------	--

6についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- 和室を使用することで、「お茶会」の雰囲気を感じることが出来た。 日本の伝統文化の道具に触れることができた。また、扱い方を知り楽しみを知った。 扱い方を知ることで自信に繋がった。
-------------	---

7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ----- ①茶道を通して、礼儀作法を知る。場に応じた立ち振る舞いができるようにする。 ②初めてのことや難しいことにも最後まで諦めずに取り組むことができるようにする。 ③お茶を点てることを通じて、相手を思いやる心が育つ。
-------------------	--

7についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ----- ①茶道を通して、礼儀作法を知ることができた。場に応じた立ち振る舞いがあった。 ②初めてのことや難しいことにも最後まで諦めずに取り組むことができた。 ③お茶を点てることを通じて、相手を思いやる心が育った。
-------------	--

8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ----- ・茶道を経験、体験することで、日本の伝統文化を知ることができた。 ・目を見て話をきちんと聞くことができた。 ・物事に集中して取り組めることができた。 ・難しいことでも「やればできる」と自信がついた。 ・お湯の扱い方など、正しい物の使用方法を覚え、将来の生きる力に繋げていくことができた。 ・幼児期の貴重な体験が良い経験として大きくなっても記憶に残る。 以上の内容は、小学校生活に入る上での重要な基盤となる。
--------------	--